

# 議会だより

12号

おはなしのへや  
あかちゃんえい  
おはなしたよ!  
絵本だ~いすき

なびあす図書館での「よちよちおはなし0・1・2」開催後の1コマです。

● 新年のご挨拶 .....	2	● 群馬県榛東村が	
● 12月定例会 .....	3	美浜町議会を研修.....	12
● 常任委員会の動き .....	4	● 若狭地方町村議会	
● 一般質問 .....	6	交歓球技大会 .....	12
● 各種委員会報告 .....	9	● 編集後記 .....	12
● 議会の動き .....	12		

# 新年のご挨拶

美浜町議会議長 北村 晋



明けましておめでとございます。  
町民の皆様におかれましては、輝かしい新春をご家族お揃いで迎えられたことを心からお慶び申し上げます。

旧年中は、町議会に對しまして温かいご理解を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、地方分権の進展と共に地方自治体の意思決定機関である議会の充実が強く求められております。

昨年は、予算決算審議の充実をはかるための常任委員会設置や一般質問における一問一答方式の導入、議会運営、議員の活動、政策提言など議会活性化策を実施してまいりました。

しかし、人口減少と厳しい財政運営が続く美浜町では、現在、職員数の削減や事務事業の見直し等の行政改革が進められております。

その中で、望ましい議会とは何かを一年以上かけて議論し、追及した結果、議会として自らの身を削りつつも、議会での審議、討議を通じて町民の皆様意思を行政運営に反映させるための取り組みの充実を図る必要があると判断いたしました。

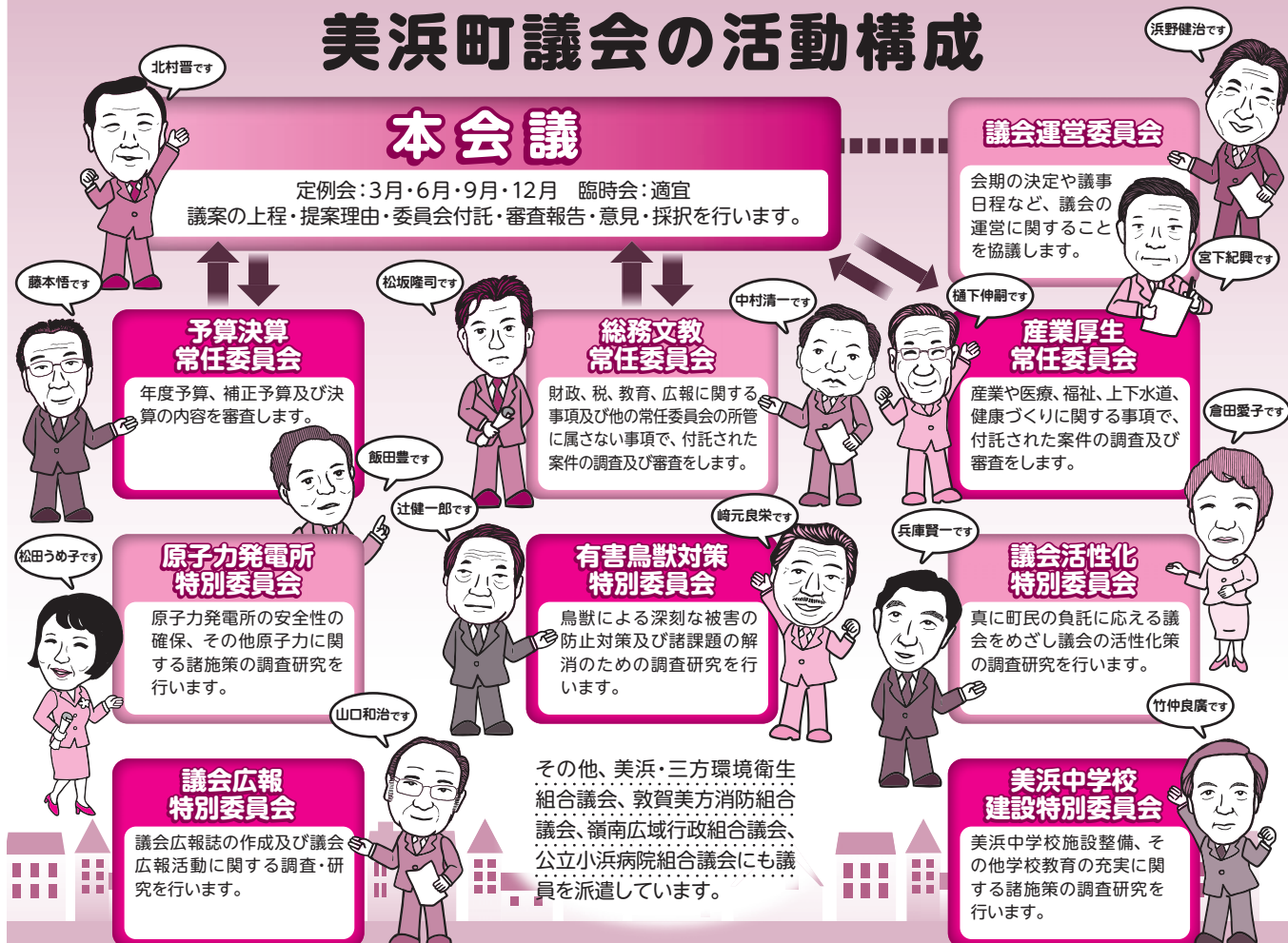
その第一歩として、昨年12月の定例議会において、次期選挙から議会議員定数を2人減の14人とする我々にとつては非常に重い決断を下すとともに議会の審議について町民の皆様にお伝えし、町の課題についての意見交換を行う場として「議会と語るう会」を本年度より実施すること致しました。

今、日本では景気対策、社会保障、雇用対策、原子力発電所の再稼動の問題、原子力発電をめぐるエネルギー政策等が国家の未来を左右する重要課題とされています。

原子力発電所の立地する町議会として、国の動きを見据えながら町の未来に向けて町民の皆様が夢と希望が持てる安全安心な町づくりのため、誠心誠意努力してまいる所存であります。

今後とも町民の皆様のご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます、年頭のご挨拶とさせていただきます。

## 美浜町議会の活動構成



# 12月定例会 (12月7日～12月21日)

12月定例会は12月7日より12月21日まで15日間の会期で開かれました。一般会計補正予算など27議案各常任委員会で審議の上、いずれも原案どおり全員賛成で可決しました。議員発委による、美浜町議会会議規則の改正は賛成多数で美浜町議会委員会条例の改正、地方自治法第96条第2項の規程による美浜町議会の議決すべき事件を定める条例の制定、過疎地の郵便局のサービス水準を堅持する意見書、又議員発議による美浜町議会議員定数条例の一部改正については全員賛成で可決しました。

## 議員定数16名から14名に(次期一般選挙から)

### 予算案件

- 専決処分の承認  
衆議院議員総選挙の執行経費70万円を補正するものです。
- 平成24年度一般会計補正予算(第4号)  
補正予算額7,593万円追加するものです。
- 平成24年度美浜町国民健康保険事業特別会計補正予算  
保険給付費、後期高齢者支援金等1億213万円を追加するものです。
- 平成24年度美浜町介護保険事業特別会計補正予算  
介護保険事業勘定761万円を追加するものです。
- 平成24年度美浜町簡易水道事業特別会計補正予算  
簡易水道事業費80万円を追加するものです。
- 平成24年度美浜町集落排水処理事業特別会計補正予算  
集落排水処理事業費76万円を減額するものです。
- 平成24年度美浜町公共下水道事業特別会計補正予算  
公共下水道事業費16万円を追加するものです。
- 平成24年度美浜町上水道事業会計  
上水道事業収益を1億3,877万円とし事業費用を1億3,140万円とするものです。

### 条例案件

- 美浜町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正  
国家公務員等と準じて、職員の勤務時間を短縮するものです。
- 美浜町交通指導員の設置に関する条例の一部改正  
美浜町暴力団排除条例の一部改正

- 美浜町母子家庭等医療費、美浜町父子家庭医療費の助成に関する条例の一部改正
- 美浜町下水道条例の一部改正
- 美浜町保健福祉センターの設置及び管理に関する条例の一部改正
- 美浜町ゆうあいひろばの設置及び管理に関する条例の一部改正
- 美浜町総合運動公園の設置及び管理に関する条例の一部改正
- ※ 以上議案は施設使用料の適正化を図るため改正するものです。
- 美浜町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の制定
- 美浜町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスのに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の制定
- 美浜町指定地域密着型サービス事業及び指定地域密着型介護予防サービスの事業者の指定に関する基準を定める条例の制定
- 美浜町営住宅等整備基準条例の制定
- 美浜町移動等円滑化のために必要な町道の構造に関する基準を定める条例の制定について
- 美浜町町道に設ける道路標識の寸法を定める条例の制定
- 美浜町町道の構造の技術的基準を定める条例の制定
- 美浜町水道法施行条例の制定
- 美浜町生涯学習センター並びあすの設置及び管理に関する条例の一部改正

## 平成24年度 一般会計12月補正予算概要

予算規模	補正 予算額	7,593万円	補正後 予算総額	76億4,638万円
(参考) 前年同期	補正 予算額	1億1,827万円	補正後 予算総額	87億9,334万円

◎ 歳出予算の内訳(主要事項)

(単位：万円)

款	主要事項	金額	事業概要等
民生費	公立小浜病院組合負担金	2,194	レイクヒルズ美方病院に係る負担金の増
衛生費	日向地区海岸漂着物撤去工事	179	日向地区の海岸において漂着物の撤去を行う。
農林水産業費	有害獣侵入防止柵設置事業	91	金山外10集落に対して、侵入防止柵に係る事業費用を補助(1/3)する。
	水産物供給基盤機能保全事業	500	丹生漁港(第五物揚場・38護岸)において補修工事を行う。
土木費	県営砂防事業(急傾斜地崩壊対策工事)負担金	95	・久々子飯切山地区(擁壁工事の増) ・日向長兵谷地区(測試・補償等)
教育費	ポートハウス建設用地取得事業	407	県立ポートハウス改築に係る用地の取得に当たり、補償調査業務を委託する。
公債費	長期債に係る元金及び利子	4,273	・元金(36)・繰上償還金(4,476) ・利子(▲239)
人件費	職員人件費	▲2,123	・職員人件費(▲1,886) ・議員報酬等(▲237)

# 常任委員会の動き

各常任委員会に付託された案件と、おもな審議内容をお知らせいたします。

予算決算  
常任委員会

付託案件8件

◎専決処分承認を求めると  
(一般会計補正予算第4号)

**問** 専決処分には限度額があるのではな  
いか。

**答** 自治法によると2種類の処分方法が  
あり、一つは軽微な請負契約があり限  
度は500万円、あと一つは緊急を要する  
ための法律規制があり限度はない。今回は  
突然の衆議院選挙に資する専決処分である。

◎平成24年度美浜町一般会計補正予算(第5号)

●歳出

〈総務費〉  
**問** 選挙管理委員会の職員手当は今回  
の選挙対応か。

**答** 選挙管理委員会において支弁される  
職員手当での変更分である。

〈民生費〉

レイクヒルズ美方病院の  
経営改善が急務・利用を!

**問** レイクヒルズ美方病院の負担金補正  
が2,194万円になっているが、  
資金不足をいつ感知したか。又、経営改善  
の見込みはあるのか。

**答** 8月頃に相談があった。25年度は不  
足額を上乗せした形で計上するが、  
その後は療養病床の変更等の改善効果が出  
て、負担軽減を計る予定である。

**問** 経営不振を深刻に捉え、細部にわたり経  
営改善を図る必要があるのではないか。

**答** 過去閉鎖の危機があったが地域医療  
の必要性で両町負担で継続してい  
る。専門家も入れて将来の検討を実施する。

**問** 公立小浜病院建物に対する美浜町の  
負担はあるのか。

**答** 公立小浜病院の建設費の負担はな  
い。

**問** レイクヒルズ美方病院の増床は医療  
型か介護型か。

**答** 医療型である。

〈衛生費〉  
**問** 日向地区海岸漂着物撤去の対象物は  
何か。

**答** 漁網と木屑が主体である。

〈農林水産費〉  
**問** 有害獣侵入防止柵設置事業費の補助  
金の詳細は。

**答** 11集落の農家組合から提出された電  
柵等の設置資材購入領収書の総額に  
対する3分の1の補助金である。

美浜産品の事業支援

**問** 「福井梅の里」再生事業の事後の検  
証はどの様にしていくのか。他にぶ  
どうやイチゴもあったが、販路の確保も必  
要ではないか。

**答** 事後の検証は生産量で行う。販路の  
件は検討する。

〈教育費〉

**問** ボートハ  
ウス建設  
用地取得事業  
の内容は。

**答** 国体を控  
えボート  
ハウスを移転す  
る必要がある、  
現レインボーマ  
リーナの敷地を  
買収する。レイン  
ボーマリーナは  
久々子湖内の他  
の区域に移転の  
計画である。



移転されるボートハウス

●歳入  
質疑はありませんでした。

◎平成24年度美浜町国民健康保険事業特別  
会計補正予算

国民健康保険料は  
正しく払いましょう

**問** 国民健康保険料の徴収率はどれくら  
いか。

**答** 22年度実績は94.64%である。

**問** 繰越金の余裕はあるのか。

**答** 23年度末で6,100万円であり、  
この範囲で補正をしている。

◎平成24年度美浜町介護保険事業特別会計  
補正予算

**問** 介護士が不足していると聞いてい  
る。看護学校の希望者不足、現役の  
賃金の低さ等が原因と考えるが対応策はあ  
るのか。

**答** ご指摘の通り現状は余裕のある職員  
配置ができていない。町としては小  
さいころから介護の大切さを訴え、介護に  
触れる等して啓蒙をはかりたい。  
以上の審査を終了し、全議案を承認した。

総務文教  
常任委員会  
付託案件6件  
意見書1件

の  
か。

4月以降役場の勤務時間は  
午前8時30分から  
午後5時15分になります

勤務時間が15分短縮され、定時は8  
時30分から17時15分との事だが、住  
民サービスが低下することがないのか。

サービス低下をきたさない様に証明  
書発行を17時30分までにするとか、  
電話予約を頂くとかを検討、準備している。  
又、先行している市町の状況を参考にした  
り、実際に始めてみて課題を抽出し対応を  
考えたい。

開始までに時間があるので住民に  
対する周知徹底を図ってほしい。  
15分の短縮によるメリット、デ  
メリットをよく検証し、メリッ  
トの出ない対応をお願いしたい。

美浜町職員勤務時間、休暇等に関する条  
例等の一部を改正する条例の制定について

美浜町職員勤務時間、休暇等に関する条  
例等の一部を改正する条例の制定について

美浜町職員勤務時間、休暇等に関する条  
例等の一部を改正する条例の制定について

美浜町職員勤務時間、休暇等に関する条  
例等の一部を改正する条例の制定について

美浜町職員勤務時間、休暇等に関する条  
例等の一部を改正する条例の制定について

美浜町職員勤務時間、休暇等に関する条  
例等の一部を改正する条例の制定について

美浜町職員勤務時間、休暇等に関する条  
例等の一部を改正する条例の制定について

美浜町職員勤務時間、休暇等に関する条  
例等の一部を改正する条例の制定について

美浜町職員勤務時間、休暇等に関する条  
例等の一部を改正する条例の制定について

美浜町職員勤務時間、休暇等に関する条  
例等の一部を改正する条例の制定について

美浜町職員勤務時間、休暇等に関する条  
例等の一部を改正する条例の制定について

美浜町職員勤務時間、休暇等に関する条  
例等の一部を改正する条例の制定について

◎美浜町交通指導員の設置に関する条例の一部を改正する

条例の制定について

どの様な部分が改正されるのか。

通勤での災害に対する補償に関する制度が追加される。



住民環境課窓口

◎美浜町暴力団排除条例の一部を改正する

近年、この条例に係わる事案はあったのか。

発生はしていない。

暴力団関連とは別だと思いが、振り込め詐欺はどこが扱うのか。

消費者行政の窓口で受け付けており、嶺南で連携をはかっている。

◎美浜町立学校施設使用条例の一部を改正する

各小学校の屋内運動場使用料は面積配分としているが、何を基準としているのか。

体育館の実面積である。

(意見) 面積と利用料金が合わないと思われる点があるので、再度確認をお願いしたい。

地区公民館活動として学校体育館の利用は減免対象か。

ほとんど減免対象となる。

料金の徴収方法はどうか。

利用者に負担が掛からないように徴収方法を検討する。

◎美浜町公民館の設置及び管理に伴う条例等の一部を改正する

耳公民館西分館の屋内運動場全面と云うのは建物すべてを指すのか。

アリーナ部分のみで、体育館の面積で算定した。

◎美浜町運動公園の設置及び管理に関する条例の一部を改正する

検討委員会の結論は金額を含むものか。

具体的金額でなく算定方法に対する決議である。

以上で審査を終え承認したが、後日理事者から

◎美浜町立学校施設使用条例の一部を改正する

町公民館の設置及び管理に伴う条例等の一部を改正する

金を求める面積に錯誤があることが判明し、本会議にて訂正動議を受け取り、再度委員会を開催し承認した。

(意見書案件)

◎過疎地の郵便局のサービス水準を堅持する意見書

意見書を採択

参考人として美浜郵便局長を招聘し、郵便局業務の現状について説明を受けた後、審議に入りました。郵便局側にも郵便サービス等の経営努力も必要であるが、今後この課題は無視できないと言う委員総意で採択した。

産業厚生

常任委員会

付託案件12件  
意見書1件

(付託議案・質疑のなかった議案は省略しています)

◎美浜町母子家庭等医療費の助成に関する条例及び美浜町父子家庭医療費の助成に関する条例の一部を改正する

今回の改正は平成24年8月1日制定施行となつているがその理由と適及対象者はいるのか。

遅れたのは9月議会提出に間に合わなかったためであり、本町に対象者はいない。

◎美浜町下水道条例の一部を改正する

『地震によつて下水の排水施設や水処理施設に支障が生じないよう必要な措置を講ずる』とあるのは配管などを耐震性に優れたものに交換していくと言う事か。

その通りで予算に応じて配管、施設の耐震化を随時すすめていく。

◎美浜町ゆうあいひろばの設置及び管理に関する条例の一部を改正する

65歳以上の利用は半額となるが、団体使用で半額とする規定はあるのか。

65歳以上が半数以上いれば対象となる。

利用者の多くは65歳以上であるが、半額で施設運営上に支障をきたすことはないのか。

施設使用料が若干減ることが想定されるが、多くの人に使用してもらうのが目的と考えている。

◎美浜町指定地域密着サービス事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について

各書類の保存期間を5年としているが保存方法は。

紙ベースでの保存としている。また、収納スペースの心配はない。

◎美浜町営住宅等整備基準条例の制定について

昨年の改正は入居者の家賃などの設定であったが、今回は町の裁量拡大かそれとも国の改正によるものか。

後者であり、これで町営住宅等整備基準に関する改定が一段落する。

◎美浜町道の構造の技術的基準を定める条例の制定について

町道の概念として最初から町道である箇所と、個人所有の土地が長年にわたり町道並みに扱われている道路があるが、これらの整備も必要と考えるが町は把握しているのか。

一般に里道と言われる部分が該当する。町道整備に合わせ、区長の要望等で対処しているが、台帳管理はしている。地籍調査等を通じて明確にしていきたい。

◎美浜町水道法施行条例の制定について

現在役場は専門技術者の採用はしていないが、配管等布設工事監督者は何人おられるのか。

対象の資格者は3名いて、1名は上水道課に配置している。工事委託の場合、業者に管理を行わせることができる。

以上の審査を終え、全議案を承認した。

(意見書案件)

◎生活保護基準の引き下げはしないことなど国に意見書提出を求める陳情書

については、協議の結果継続審議とした。



耐震パイプ埋設風景

# 質 問

12月定例会では5人の議員が一般質問に立ち、町行政の有り方について、問いただきました。



竹仲 良廣 議員

**学校図書館の充実、図書館専門職員（司書）の配置を。**

.....  
**現在、図書は充実している。司書は中学校に司書教諭一人いる。**

**問** 平成24年度より新学校図書館整備5カ年計画が策定され、町内の学校図書館はこれまでにどの程度改善されたのか。また、新5カ年整備計画に沿ってどのような改善を計画しているのか。

**町長** 毎年、小中学校の図書館も見学しており、その際学校側からの特段の要望がないので、今のところ充実していると考えている。蔵書については、図書館法に定める標準を超えており、毎年充足をしている。

**問** 学校図書館の運用において、専任の図書館職員（司書）が必要と考えられる。これを受け、町では学校図書館司書の配置はどのようになっているのか。

**教育長** 図書館法では12学級以上で配置と司書教諭を1名配置している。他に司書免許を取得している教諭が1名いる。今後、職員を充実していきたいと考える。

**問** 近年、新聞を用いた教育（NIE教育）が求められているが、町内各学校に新聞は配布されているのか。又それらの活用はどのようになっているのか。

**教育長** 町費負担で各学校に1部購入している。また、PTAの協力をいただきながら、子供新聞とか写真ニュースなどを購入して、切り抜きを配り内容の説明や感想の聞き取りなどの授業に活用している。

**サザエ・アワビの密漁について遊漁料を払って楽しめる場所の提供をしてはどうか。**

.....  
**集客人口のUPや体験学習の面からも必要。地元漁業者と協議をしたい。**

**問** 夏の季節サザエ、アワビなどの密漁者検挙の新聞記事が多く見られる。漁業者の立場から取締りは大変重要なことと捉えているが、遊漁料を払えば自由に貝類が取れる場所の提供をしてはどうか。

**町長** 不法採取については違法行為であること認識していただくために検挙は必要で、今後も継続して関係機関にお願いをする。また、観光、集客人口UPや体験学習の面からも貝類が採取できる場所の提供は必要と考える。今後、地元漁業者と協議を進め前向きに検討する。

**五木ひろし記念館建設について。**

.....  
**民間の機運が高まれば行政の支援もあり得る。**

**問** 「なびあす」のこけら落としのコンサートの中で、五木ひろしさん本人から美浜町に五木記念館なるものを建設したい。と希望を言っておられた。この発言をどのように捉えているのか。

**町長** 以前から記念館については話題になっており、何とか進められないかとは思っている。町民からの盛り上がり期待する。

**問** 町の財政から慎重にならざるを得ないと思うが、五木ひろしさんは現役の間に建設を希望しており、本人の軌跡を残す意味からも前向きに考えてはどうか。

**町長** 町民が期待されているのは、収益性のある施設を要望していると思う。民間が中心となり計画がまとまった段階で、行政ができる範囲で応援したいと思う。

**旧せせらぎ保育園の後利用について。**

.....  
**旧保育園は文化財の保管場所に考えており、改修費用は1億円程度かかる見通し。**

**問** せせらぎ保育園が改築され1年あまり経過するが、旧保育園はそのまま放置されている。今後、どのようにされるのか。

**教育長** 耐震はAクラスで問題がないので、改修をして文化財の保存場所に使いたい。また、改修費用は1億円程度必要である。



旧せせらぎ保育園

**なびあすを活用して、どのような社会教育・文化活動を展開されようとしておられるのか。**

.....  
**12年に策定した生涯学習プランを見直し、新施設を拠点に拡充を図りたい。文化ホールを活用した事業を開催していきたい。**



兵庫 賢一 議員

質問、返答については質問者の文責で掲載しております。

なびあす中心主義になり、地域のコミュニティ・文化活動等の衰退に拍車がかからないか。

なびあすを中心しながら地域のコミュニティを大切に、講座の開設等を充実させていきたい。

施設の使用料金などの収入の見込みと、ランニングコストや事業費の規模、町の財政からの支出額は。

施設の使用料収入は3月までで100万円、管理費として1,061万3千円を予算化、内一般財源が403万8千円。文化事業に954万8千円が一般財源は使用していない。

エネルギー体験施設建設について、検討委員会での進捗状況は。

検討委員会は企画政策課が担当し、19名で構成してエネルギー環境教育体験とハートフル体験との連携等を考慮に入れ今年度中に基本計画をまとめて行きたい。

混乱するエネルギー政策の中、利用者が集まるのか。

22年基礎調査はまとまっていたが、再調査をしている。200km圏内の学校を対象として行い、魅力あるプログラムを希望されており、福井大学・文科省に入ってもらい検討中。

我町にどうしても必要な施設なのか。

総合的にエネルギーと環境教育の拠点として必要。

国内の状況、町の財政状況を考慮して、結論を先に延ばすべきではないか。

国の指定を受けているので、期日を守り進めねばならない。

発電所の稼働停止が長引き、地域経済への影響が出始め、他の産業も疲弊が著しいか。

3.11まではリブレースで進んできたが、今は現在ある炉の稼働がどうなるかが決まるまでは決まらない。企業団地を作ってきたし、若者定住化も進めたい。

これまでの助成のあり方では限界があるのではないか。行政として、町の産業・資源全てをコラボする様な方針・戦略を立てなければ先が無いと考えるが。

考えが異なる。小さな行政を目指すしており、民間のことは民間でやるべき。インフラ整備は必要に応じてやる。営業まで行政がやるのは難しく、其々が頑張っているのを行政がコラボすれば肥大化し、問題がある。

これまでの助成のあり方では限界があるのではないか。行政として、町の産業・資源全てをコラボする様な方針・戦略を立てなければ先が無いと考えるが。

考えが異なる。小さな行政を目指すしており、民間のことは民間でやるべき。インフラ整備は必要に応じてやる。営業まで行政がやるのは難しく、其々が頑張っているのを行政がコラボすれば肥大化し、問題がある。



浜野 健治 議員

原子力発電所停止の現状を踏まえた町の近未来は。

美浜発電所は規制庁の動きを注視、経済対策は企業団地や若者定住化対策で。

原子力発電所に対する不安にどう応えるのか。

安全を最優先とした原子力発電所の再稼働、リブレースは基幹電源として日本には必要と考える。

町の実情を国、県に陳情している。やがて訪れる原子炉の使用済核燃料、高レベル廃棄物及び廃炉についてどの様に考えておられるのか。

中間貯蔵庫は平成16年議会の承認を得ているが県、企業は県外として進んでいる。核燃サイクルも継続の判断が出た。知事が国の協議会に参加しているので県の考え方に同調していく。

多額の補助金投入事業の成果をどのように評価するか。

雇用、税収、経済波及効果で判断。

多額の補助金投入事業の成果をどのように評価するか。

雇用、税収、経済波及効果で判断。

多額の補助金投入事業の成果をどのように評価するか。

雇用、税収、経済波及効果で判断。

多額の補助金投入事業の成果をどのように評価するか。

雇用、税収、経済波及効果で判断。



美浜発電所

企業誘致した事業は軌道に乗っていると考えておられるのか。

平成18年企業誘致条例を設け、1億7千5百万円の投資をしてきた。雇用で59人中、町内35人、固定資産税6千4百万円の直接効果が出ている。

温泉施設と運動公園広場の活用は考えておられるのか。

温泉施設計画は町民の健康づくり及び医療費低減施設を、運動公園広場は体育館の補助施設として計画があるが当面駐車場として利用する。

地域防災計画は進んでいるのか。

国、県の指導を得ながら推進する。

美浜町の自主防災計画の進捗は。

現在38集落中10集落が立ち上げている。

原子力規制庁の出した放射能シミュレーションの活用方法は。

避難を要する災害の発生を前提に、県内、近傍、情報活動を前提におおい町を選定している。

県の出した津波シミュレーションはどの様に活用するのか。

ハザードマップ作成、海拔標示等、県の補助金を活用して作成する。

# 一般質問

12月定例会では5人の議員が一般質問に立ち、町行政の有り方について、問いただしました。質問、返答については質問者の文責で掲載しております。

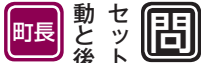


宮下 紀興 議員

## ☆革新的エネルギー環境戦略会議に関連して

- ① 40年運転制限を厳格にする
  - ② 原子力規制委員会の安全確認を得たもののみ再稼動する
  - ③ 原発の新設、増設は行わない
- の3原則について町長の見解を求めたい。

①.②については規制委員会の判断が原則である。③については新政権には必要性を要望していきたい。



**問** 美浜1号機、2号機は40年を超えている。再稼動にはリブレースをセッティングしなければならぬが再稼動と後継機の認識を伺いたい。



**町長** 当然大きな炉になるといふふうについてはこの場で話すのは難しいと考えているがリブレースは求めて行きたい。

## 子供やお年寄りの安全の為に歩道整備について。

今後の歩道整備は新しい予算を見つげながら努力をしていきたい。



松坂 隆司 議員



**問** 2030年代に原発をゼロにして行くとの民主党の方針にどう認識されているか。



**町長** あらゆる政策資源を投入とあるが現実的にみて無責任と思う。よって新政権のもと責任ある対応をとっていくものと思う。



**問** 3号機の見直しについてどう考えておられるか。



**町長** 関電は次の対象を高浜の3、4号機と言っておられる。ストレステストも先に終っている事、美浜の審査は止まっている事、更には破砕帯の調査がされる所という事でありこれは理解を示している必要があるのかなと思っている。



**問** 白木・丹生断層についての調査進捗状況についてお伺いしたい。



**町長** 破砕帯の進捗状況と言ふ事だが今後の発電所の再稼動等非常に大きな問題であることから年度内の調査をまとめて行きたいという事を注視していきたい。



**問** 福祉の現場、介護職員等の不足について現状と対策について伺いたい。



**町長** 美浜町では交代要員等に対応し厳しい一面もある。各施設の必要配置数を割り込むという状況にはなっていないがマンパワーの確保が重要と思うので福祉の委員会で検討していただく必要があると考えている。



**問** 県境間の観光・交流の連携に関して町の取り組みは?



**町長** 歴史的に様々な交流を図ってきたが、美浜から高島市へ直接抜ける道路が無いこともあり、どうしても道路が必要になってくると考えている。高島市と相思相愛になるために交流を進めていきたい。



**問** 現存するレインボーラインやレクセンターなどの観光施設を今後どのように考えているか。

**町長** 〈意見〉 行政は野球で言うならコーチ、団体はプレーイングマネージャー、事業者はプレーヤー、町民はファン、行政の立ち位置が曖昧。行政がバックアップし、事業者、町民が相互に連携し合うチーム美浜づくりを早急に進める必要がある。新庄区は力ギになりそれを後押しするのが行政の大切なところではないか。



**町長** 美浜町の観光を改めて一から出直しているのが現状と考えている。



**問** 〈意見〉 大きい箱は、次の時代の重荷でしかなく将来世代の負担になる。PDCAを繰り返し新しい展開へ共に考えていくべき。



**問** なびあす等、町内公共施設のネット環境の整備と、高速情報通信網の整備の今後について。



**町長** 地域社会で今後も様々な検討をしていきたいと考えている。



**企画政策課長** 高速で快適な信頼性の高い情報通信基盤を更新していく必要がある。MMネットの中で若狭町と一緒に、具体的な検討も進めている。

他に情報通信の高度化への対応として、役場や公民館、駅、観光施設に無線LANを整備し、住民、観光客に便利な環境を提供することも含め検討している。

〈意見〉 情報の高度化、大容量化しクラウド・コンピューティング化すればするほど、情報量の双方向の情報量は滞りなく流れる。高速情報網の整備は高速道路のインフラ整備より意味がある。若い次の世代がここに定住し、今まではこの地域では考えられない雇用の創出も含め、基本となる情報トラフィックの高速化整備は最低限必要であると考えている。

〈全体意見〉 どこに住んでいても、美浜出身の人や美浜が好きの人、その関係する人全てが美浜のファンである。町民以外のファンを活用するべきであり、それをもっと町の活性化に活かすべき。町民の何倍にも広がる可能性を使わない手はない。



# 各種委員会報告

## 【原子力発電所特別委員会 活動報告】

平成24年11月20日～21日にかけて、全国原子力発電所立地議会サミットが、品川プリンスホテルにおいて開催され、委員及び議長が出席しました。

### ①「立地自治体との対話」

講師 経済産業省

### ②「被災地からの提言」

富岡町長 遠藤勝也氏

その後、会場から多くの質問や意見が出されました。その内容は、革新的エネルギー・環境戦略は、閣議決定がされていないのでは。いつ行ったのか。地元自治体と



第8回全国原子力発電所立地議会サミット

の対話がないまま決められてしまった。本日の基調講演の演題でもある「自治体との対話」とあるが、正に対話がなされていないのでは。東日本大震災から1年半が経過したが、国は何を行ったのか説明を。等々、原子力発電所の再稼働や40年制限等についても、説明を求める声がありました。

その後、5分科会に別れ意見交換が行われました。

● 第1分科会「福島原子力発電所事故の検証と被災自治体の課題」

● 第2分科会「原子力発電所の防災・安全対策と再稼働」

● 第3分科会「エネルギー政策の方向と諸課題」

● 第4分科会「高経年化対策と核燃料サイクル」

● 第5分科会「今後の原子力政策と地域振興のあり方」

● 第1分科会～第5分科会の報告

● 国からのコメント

● 大会宣言

が行われ、閉会しました。このサミットは2年に1回、東日本・西日本側で交互に行われており、2年後は西日本で開催予定となっております。

(松田記)

## 【議会活性化特別委員会】

### 議員定数を 次回改選より14人に

今回の2012年12月議会において、次回選挙より議員定数を16人から14人とする条例改正を提出し可決されました。地方分権一括法の施行により地方自治体の意思決定機関として、議会の機能の一層の強化充実を進め、議会議員が果たすべき役割が重要となっている。現下の厳しい地方財政の実情や行政に対するニーズ、議会の組織・運営の改革等を考慮しながら、より大局的観点からの議会運営と議員活動の促進を美浜町議会として進めていきたいと考えている。議会活性化特別委員会として本年度は町民に開かれた議会として「議会と語ろう会」の開催に向けて、議員全員で一致団結し行動を共にしていくことと、その他様々な改革を進めていきたい。

(松坂記)



議会活性化特別委員会研修の様子

## 【全員協議会トピックス】

### 全員協議会

(11月15日、11月27日、12月4日)

● 地方自治法改正に伴う会議規則等の改正について、福井県町村議会議長会総括参事の伊藤氏を迎えて研修をしました。

● 使用料等の見直しに伴う、公の施設の設置管理条例の改正について。

● レイクヒルズ美方病院の経営状況について説明をうけました。

● 原子力規制委員会森田地域原子力安全統括管理官から、安全規制の検討状況について次のような説明等を受けました。

- 原子力規制の転換
- ① 重大事故対策の強化
- ② 最新の知見に基づく原子力安全規制の実施
- ③ 原則40年運転制限の考え方の導きなど原子力規制を強化
- 原子力防災体制の強化
- 内閣に原子力防災会議を設置し、緊急時に備えて平時から政府全体で原子力防災対策を推進する体制を整備

(藤本記)

# その他 活動報告

## 【公立小浜病院組合議会】

### 公立小浜病院 高度医療施設整備事業完了

高度医療施設整備事業が、平成14年から第1期工事、17年から第2期工事、22年から第3期工事に分けて進められてきました。11月に第3期工事が完了し11月24日に竣工式が執り行われました。



レイクヒルズ美方病院

11月26日平成24年第3回公立小浜病院組合議会が招集されました。事業会計補正予算、教育委員会委員の任命ついて等が上程されました。補正予算については、常任委員会に付託されました。

11月27日全員協議会で、レイクヒルズ美方病院の概況説明を、当病院の事務長よりしていただきました。

12月26日本会議が再開され、常任委員長報告の後、平成24年度公立小浜病院組合病院事業会計補正予算について等、3議案が可決されました。

(倉田記)

## 【美浜・三方環境衛生組合】

### 平成23年度決算を承認

12月4日、美浜町議会本会議場において本組合定例会が開催された。内容の一つは組合副議長の交替が上程され、新たに若狭町議会小堀友廣議員が副議長に就任した。審議事項は平成23年度美浜・三方環境衛生組合一般会計歳入歳出決算が上程され歳入総額7億9千9百万円、歳出総額7億8千5百71万円、繰越金1千3百29万円が承認された。その他に条例の改正2議案が承認され閉会した。

(浜野記)



エコクル美方

## 【敦賀美方消防組合議会】

平成23年度災害等出場件数、  
火災…24件

(前年比4件増)

救急車…3, 264件

(前年比23件増)



出初式の様子

12月27日、消防本部において敦賀美方消防組合定例会が開催された。議案内容はB議案第一号として敦賀美方消防組合議会会議規則の一部を改正、議会において公聴会の開催、参考人招致を可能とし、その手順を追加改正を行った。又10号議案として平成24年度敦賀美方消防組合一般会計補正予算を採択し、続いて平成23年度敦賀美方消防組合一般会計歳入歳出決算が上程され。議員から消防設備の器具保管庫等の管理費の基本的分担割合等の質疑があり、最終的に承認された。

(浜野記)

【美浜町防災訓練（南地区）】

**大地震に備えて、  
防災訓練実施**

日程は10月14日（日）  
午前7時～午後1時まで

「10月14日（日）午前7時に美浜町を震源とする震度6強の地震が発生し、家屋の倒壊、火災の発生、道路の損壊等、甚大な被害が発生した。余震も頻発し、一時避難所への避難勧告発令したが被害拡



防災訓練の様子

大のおそれがあるため一時避難から地区避難所への避難が必要となった。」と想定しての、気山・大藪・金山・久保・郷市・松原・久々子・矢筈の8集落を対象として実施した。

訓練場所は、美浜南小学校グラウンド及び体育館で、区民の避難・安否確認・救護・救出・炊き出し等、また職員の携帯メール通信・電話連絡網の運用・災害対策本部訓練・福井気象台による気象情報研修等の訓練を併せて実施した。

（山口記）

【議会現地視察】

**早く完成を！  
舞鶴若狭自動車道の現場を視察**

小雪の舞う12月18日、町三役、議長をはじめとする議員全員で舞鶴若狭自動車道の美浜町管内工事現場を視察した。若狭町と美浜町を結ぶ矢筈山トンネルは坑内に入って内壁工事を見学、続いて吉城川橋に登って四方の眺望、橋の構造等の説明を受けた。最後は美浜ICの予定地と金瀬川橋、野坂岳トンネルを見学した。供用は平成26年度内、出来るだけ前倒しでとの事でした。

（浜野記）



高速道路視察

【子ども議会開催】

**子ども議員が  
頑張りました！**

11月15日（木）午後7時より、役場3F美浜町議会議場において「子ども議会」が開催されました。この「子ども議会」は三方五湖青年会議所の発案で美浜町・町議会・中学校の快諾により実現し、当日は傍聴者を含め議場に集まった人数が80名を超え、美浜中学校2年生代表の6人の「子ども議員」が町長や理事者に対して質問や提案をしました。

（松坂記）



子ども議会の様子

【全員協議会】

**各施設の使用料金及び条例の  
改正を承認（4月1日～運用）**

公共施設の使用料とその減額や免除規定等が、各施設ごとに設定されていて不統一なため利用に際して不公平、不統一と言う課題があった。「なびあす」の開設に合わせ「施設使用料等適正化検討委員会」を設置し、町民の声を反映すべく利用諸団体の代表、有識者13人で検討を重ね、使用料の設定基準、算定基準の統一と、減額・免除規定の適正化についてまとめた。それらの結果から提案された条例及び、使用料の説明を受け、利用の促進対策も合わせ公平かつ適正に運用することを前提に承認に至った。4月1日から運用開始される。

（藤本記）

# 議会の動き

10月7日	地区体育大会(南地区、耳地区、東地区)
20日	第25回美浜町民レガッタ開会式
21日	第25回美浜町民レガッタ
22日	全員協議会
24日	美浜町戦没者追悼式
27日	若狭地方町村議会議員交歓球技大会
31日	市町村議会議員合同研修会
11月3日	生涯学習センターなびあす竣工式 町政功労表彰式
10日	みはまナビフェス開会式
20日	第8回全国原子力発電所立地議会サミット(21日)
27日	議会運営委員会
12月4日	意見交換会 全員協議会
7日	第6回美浜町議会定例会(全協・本会議)
10日	第6回美浜町議会定例会(一般質問)
11日	予算決算常任委員会
12日	総務文教常任委員会
13日	美浜町老人クラブ連合会厚生労働大臣表彰披露
14日	産業厚生常任委員会
17日	全員協議会 議会活性化特別委員会
18日	現地視察(舞鶴若狭道建設現場)
19日	全員協議会
21日	第6回美浜町議会定例会(全協・本会議)

## 群馬県榛東村が 美浜町議会を研修

一問一答式はいいネ!

11月26日、群馬県榛東村の村長をはじめ、議長を含む議員16名が美浜町を訪れ、美浜町の議会活性化特別委員会の進捗状況を研修された。当日は副町長の歓迎の挨拶の後、藤本副議長及び浜野、松坂議員が美浜町で実施している「一般質問」の状況や計画中の「議会と語ろう会」、審議中の議員定数削減の考え方について説明をし、質疑を受けた。その後、本会議場を見学され宿泊先に向かわれた。

榛東村は群馬県の中央に位置し、人口約1万4千5百人、ぶどうの栽培が盛んで、大きなワイナリーを持つ豊かな村です。

(浜野記)



榛東村議会視察の様子

## 若狭地方町村議会 交歓球技大会 美浜町議会は敢闘賞!!



平成24年度若狭地方町村議会議員交歓球技大会(グラウンドゴルフ)が、10月27日に美浜町ゆうあひひろばにて開催された。

どういう訳か個人では、美浜町が優勝と準優勝をとり、さらにはホールインワン賞も3名の者が受賞：にもかかわらず、敢闘賞であった。

ちなみに、総合優勝は、若狭町議会、準優勝は、嶺南振興局であった。

(山口記)



## 編集後記

議会の内容・町の動きを、皆さまに読みやすく、見やすい様にと広報委員努力して制作しています。しかし、12月の衆議院総選挙にてご承知の様に、民主党から再び自民党が政権与党に返り咲き、あわただしく変化をするものと思います。原発対応問題も週刊誌の様に、コロコロと変わらない様に願うばかりです。

今後は、なおいっそう政策の変化によって動く町の対応を、見やすくお伝えする様心がけて広報誌を制作するつもりです。よろしくお願い致します。

(山口記)



美浜町議会広報特別委員会

【委員長】山口和治

【副委員長】浜野健治

【委員】松坂隆司・藤本 悟・倉田 愛子・竹仲 良廣